

様式 13

会派視察研修計画書

令和 4年 1月 7日

碧南市議会議長 様

会派名 公明党

代表者名 加藤厚雄

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	加藤厚雄 大竹敦子	
日時	令和 4年 1月 21日（金）～令和 年 月 日（ ）	
視察先	愛知県豊田市 若林東小学校	
研修内容	マルチメディアデイジー教科書導入について	
日程	12：00 碧南市役所を車で出発 13：00 現地付近で昼食後、車で移動 14：00～15：30 小学校で研修 15：30 若林東小学校から車で移動 16：30 碧南市役所に到着	
交通手段	公共交通機関利用 乗降車駅名（ ）	自家用車利用 <u>1</u> 台 所有者名（ 鈴木みのり ）

(議会事務局記入)

旅費の額	(内 訳)
円	

様式 1 4

会派視察研修報告書

令和 4年 3月22日

碧南市議会議長 様

会派名 公明党

代表者名 加藤 厚雄

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 2人 分の視察研修報告書を添付いたします。

参加議員	加藤 厚雄 大竹 敦子
日 時	令和 4年 1月21日（金）
視 察 先	豊田市立若林東小学校
研 修 内 容	「マルチメディアデイジー教科書導入」について
視察先面会者 又は講師名等豊 田市	豊田市議会 太田博康議長 豊田市立若林東小学校 三浦典子校長 Palcパークとよた 豊田市青少年相談センター 仲田英成所長 佐伯裕司指導主事
備 考	

※ 相手方から収受した資料の写しを添付してください。

会派視察研修成果報告書

令和 4年 3月 7日

議員氏名 大竹 敦子

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- | | |
|----------|----------------|
| 1 期 間 | 令和 4年 1月21日（金） |
| 2 視察先 | 豊田市立若林東小学校 |
| 3 視察の種類 | 先進地視察 |
| 4 視察の成果等 | |

「マルチメディアデイジー教科書の導入」について

令和元年度までは、マルチメディアデイジー教科書の使用について、各家庭で協会へデイジー教科書の使用申請・登録し、使用していたが、令和2年度より、豊田市教育委員会で、デイジー教科書を試行的に（公財）日本障害者リハビリテーション協会に一括申請し、相談のあった学校にパスワードを発行し、サーバーからダウンロードし、PCやタブレット、スマートフォンで使用できるようにした。

令和3年度、全市内の小中学校に利用申請すれば利用できるということを周知した。

「マルチメディアデイジー教科書」とは、通常の教科書と同様の文書、画像を使用し、文書に音声を書き込んだ教科書データのことである。

特徴

- ① 速度調整可能な音声の読み上げ
- ② 音声に合わせて文書にハイライトを移動させ、読み上げている箇所を表示（文字量、文字の色も見やすい色に変えられる。）
- ③ 漢字のルビ振り

対象者

通常の印刷された教科書では読むことが困難な児童生徒

予算

予算はかからない。

学校教育のICT化が進み、碧南市においても、児童生徒一人ひとりにタブレットが貸与され、様々な場面で学習効果をあげる取り組みが進められている。今回、視察させていただいた豊田市のデイジー教科書の取り組みは、とりわけ、通常の教科書での学習が困難な子ども達にとってとても効果のあるものであることを実感した。それぞれの子ども達の進捗、特性に応じた学習プログラムが進められることで、子ども達一人ひとり

が、自発的に楽しく学習に取り組んでいる様子が見えかけた。また、特別支援学級では、指導方法は教師対一人ひとりの子どもであり、集団授業は困難である。若林東小学校の特別支援学級は、2クラスで、自閉症、知的障害、発達障害などの子ども達それぞれ数名の児童が在籍しており、担任教師と支援員の2名で授業をしていたが、子ども達が無駄な時間を過ごすことなく、教師は、順次子ども達を見回りながら、子ども達に声をかけながら、授業を進めており、教師にとっても、授業を進めやすい環境ができていると感じた。

豊田市でも、さらに、このデイジー教科書の活用方法を研究し、他の小学校にも広がっていくことを望んでいたが、碧南市にも導入されることが望まれる。このデイジー教科書の活用がさらに進み、外国人児童生徒にも使用できるようになると外国人児童生徒にとっても、大きな成果が得られるのではないかと感じた。

視察研修成果報告書

令和3年 3月 22日

議員氏名 加藤厚雄

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和4年1月21日（金）
- 2 視 察 先 愛知県豊田市 若林東小学校
- 3 視察の種類 マルチメディアデイジー教科書導入について
- 4 視察の成果等

デイジー教科書は音声で読み上げてくれる教科書です。しかも、ただ読み上げるだけでなく、教科書の漢字すべてにルビ（ふりがな）を振ってくれたり、読んでいるところをハイライトしてくれたり、読み上げるスピードやトーンを調整できたりする素晴らしい機能を備えています。

家庭でも学校でも使える電子教科書なので、教科書を読むのが苦手な児童や外国人の児童に使うと有効である。デイジー教科書は公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会から提供されているマルチメディア教科書である。スマートフォン、タブレットとパソコンの両方で利用が可能で、電子版での利用なら料金は一切かかりません。

豊田市若林東小学校では、対象となる児童生徒は、通常の印刷された教科書では読むことが困難な児童生徒である。対象となる障害は発達障がい、眼球運動の障がい、上肢障がい、脳性まひ、知的障がい、視覚障がい、構音障がい等である。

特別支援学級の授業を参観した。自閉症・情緒障がい学級7組の児童は全部で8人で、1年生が2人、3年生が1人、5年生が2人、6年生が3人である。担任の他に、学級運営補助指導員が担任を補佐し、子どもたちに支援をしている。

令和3年度、豊田市教育委員会で協会へ一括申請を行うとともに、学校から市教育委員会へ利用を申請すれば。パスワードが発行でき、豊田市の学習用タブレットには、パスワードを入れればデイジー教科書が使えるアプリが入っている。

読み書きに困難さをもつ児童生徒への支援策として、碧南市にも導入を検討されたし。